

令和6年度 学校経営計画書

石川県立明和特別支援学校

校長 岡部 康英

1 教育目標

小学部から高等部までつながりのある教育を行う中で、一人一人に応じた自立と社会参加に向けた資質・能力を伸ばし共生社会の一員として心豊かに生きる児童生徒を育成する。

2 校訓

明るく 心と体を働かせ、自ら健康で安全な生活を送ろうとする子供
仲よく 多様な人々との関わりを楽しむ、思いやりのある心豊かな子供
たくましく 自分のよさや可能性を認識し、目標に向かって主体的に挑戦する子供

3 教育方針

- ① 児童生徒の教育的ニーズを把握し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいた教育を実践する。
- ② 子供の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に努め、生きる力を育む。
- ③ 医療、福祉、労働等の関係機関と連携しながら、安全・安心な学校づくりを推進する。
- ④ 多様な人々との交流や地域の協力を得て、開かれた学校づくりに努める。
- ⑤ 地域の特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。

4 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門併置の特別支援学校として、保護者・関係機関等の協力を得ながら、きめ細かい指導・支援に努めている。
- ② 学習指導要領を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を推進し、特別支援学校の教員としての専門性向上に取り組んでいる。
- ③ インクルーシブ教育システムの充実に向けて、交流及び共同学習や地域交流活動を通じて、様々な人々と互いの良さを認め合う教育活動を推進している。
- ④ 小学部から高等部まで一貫した教育を組織的・段階的に実施するとともに、産業技術コースの設置を活かした専門教育の充実と適切な進路指導に努めている。
- ⑤ 自然災害等に対する危機管理体制及び防災教育の充実による安全・安心な学校づくりの強化が求められている。

(2) 児童生徒に関すること

- ① 心と身体の健康の保持増進に努め、生き生きと過ごす児童生徒
- ② コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係を築こうとする児童生徒
- ③ 自立や社会参加に向けて、自分の可能性に気づき自己実現のために考え行動する児童生徒
- ④ 様々な体験活動をとおして興味・関心の幅を広げ、生涯にわたって学ぼうとする児童生徒

(3) 教職員、学校組織に関すること

- ① これまで培ってきた指導方法と ICT 機器等を適切に組み合わせ、「主体的・対話的で深い学び」の視点からより良い授業づくりに努める教職員
- ② 児童生徒の自立や社会参加に向けて、思いや願いを踏まえた指導に取り組む教職員
- ③ 人権意識を磨き、自らの責務と役割を認識し協力して業務遂行に努める教職員
- ④ 関係機関と連携しながら安全・安心な体制整備に努め、地域から信頼される学校組織

5 重点目標

- (1) 授業力向上（学習グループに応じた教科指導）
- (2) 安全・安心な学校（大規模災害を想定した危機管理体制の整備、防災教育）
- (3) 小中高等部のつながりのある教育（教科連携会議）
- (4) 業務改善（業務の円滑化、効率化）